

～協働のまちづくり～

将来も **ひと** と **まち** を

守れる地域であるために



将来の地域づくり 中規模多機能自治

これまで、主に旧小学校区単位で行われてきた地域活動は、少子高齢化などにより概ね中学校区単位に広がっていくことが想定され、自治会の枠を超えた地域のつながりや役割はますます重要になります。

別府市では将来を見据え、市内に設置している地域包括支援センターの担当区域に合わせ、7つの「中規模多機能自治区」（ひとまもり・まちまもり自治区）の実現を目指しています。

■ひとまもり・まちまもり自治区

- ① 青山・東山自治区
(鶴見・南立石・東山地区)
- ② 中部自治区 (境川・北・緑丘地区)
- ③ 鶴見台自治区 (石垣・春木川地区)
- ④ 朝日自治区 (朝日・大平山地区)
- ⑤ 山の手自治区 (野口・青山・西地区)

別府市では、地域の課題を解決するため、市民と行政、または市民が相互に協力する「協働のまちづくり」を推進しています。
人口減少、少子高齢化による地域運営の担い手不足などにより、自治機能を維持することが難しくなる一方で、増加する自然災害や複雑・多様化する地域課題に対応するため、協働による「ひとまもり・まちまもり自治区形成事業」が昨年度スタートしました。

自治振興課 ☎(21)1125



南立石地区支部長
堀田自治会長 後藤正行さん

ひとまもり・まちまもり自治区形成事業をきっかけに、南立石地区10町は地域の安全安心を守るため「ひとまもり・まちまもり南立石地区パトロール隊」を結成しました。

私たちの地区も高齢化が進み、地域の活動を維持することは容易ではありません。しかし、自治会同士が連携することで、継続できる場合もあります。今後も連携を深め、助け合える関係をより強固にしたいと考えています。

- ⑥ 北部自治区 (上人・亀川地区)
- ⑦ 南・浜脇自治区 (南・浜脇地区)

ひとまもり・まちまもり 自治区形成事業補助金

複数の自治会などが連携して地域共通の課題の解決に取り組む活動を支援するため、「ひとまもり・まちまもり自治区形成事業補助金」制度を創設しました。昨年度は自治区あたりの交付上限額を100万円として、概ね中学校区単位、または旧小学校区単位の地区が連携した事業が市内全ての自治区で実施されました。

【自治区（概ね中学校区）単位で取り組んだ事業】

自治区	旧小学校区	事業内容
中部	境川・北・緑丘	環境美化活動（啓発看板整備）、共同温泉維持・管理（大規模清掃）、高齢者支援（高齢者宅などの庭木剪定）
朝日	朝日・大平山	安心・安全（AED整備）
南・浜脇	南・浜脇	防災対策・まつり継承（共用テント整備）

【旧小学校区単位で取り組んだ事業】

自治区	旧小学校区	事業内容
青山・東山	鶴見・南立石・東山	交通安全活動（通学路の白線補修）、防火・防犯対策（防火パトロール隊の結成など）、伝統文化継承（東山子ども太鼓の発展・継承）
鶴見台	石垣・春木川	環境整備（行政掲示板整備）、河川の維持・管理（春木川を維持・管理するための備品整備）
山の手	野口・青山・西	高齢者福祉（町内公民館に座椅子設置など）、防災対策（防災用メガホン整備など）、環境美化活動（啓発看板整備）
北部	上人・亀川	文化活動（鬼ノ岩屋古墳のぼり旗整備）、環境美化活動（啓発看板整備）

【対象事業】

◆ひとまもり事業

- 1 地域の安心・安全を守る事業
 - 2 子どもたちがいきいきと成長する事業
 - 3 住民の生きがい・やりがいを創出する事業
- #### ◆まちまもり事業
- 1 歴史・伝統・文化・産業を磨き、または継承する事業
 - 2 地域資源をいかす事業
 - 3 美しいまちをつくる事業

ひとまもり・まちまもり 協議会の設置

自治区を発展させる取り組みとして「ひとまもり・まちまもり協議会」の設置を推進しています。自治区を協議会組織にすることにより、自治会に加え多様な団体や幅広い人々が参加でき、地域の特性をいかした取り組みが期待できます。

今年度、山の手自治区では「山の手ひとまもり・まちまもり協議会」を設立し、野口・青山・西地区が相互に協力・連携し、地域課題の解決に向けた事業に取り組む予定です。



▲山の手ひとまもり・まちまもり協議会の話し合いの様子

市職員による地域応援隊

地域を支援するため、166人の市職員による「地域応援隊」が発足しました。地域の行事やお祭りなどで人手が足りずに困っている時に、地域からの依頼に応じて職員を「地域応援隊」として派遣しています。職員が地域の一員として自主的に地域活動に参加し、地域と交流することにより、地域活性化につなげていきます。

持続可能な地域づくり

「ひとまもり・まちまもり自治区形成事業」は、地域コミュニティのあり方や住民の暮らしを守ることを最重要課題としてスタートし、将来の中規模多機能自治や連携事業に対し様々な意見もある中で、地域で話し合いを重ねてきました。

今後さらに理解を深めていくとともに地域の連携を大切にしながら、市は財政的支援や人的支援を拡充するなど、地域と「協働」で持続可能な地域づくりに取り組みます。